
hahaso stories
100% メイド・イン・讃岐プロジェクト
KOBELCO
香川県家具商工業協同組合

きっかけは“国産家具”への疑問



これまで“国産家具”と謳ってきた国内の家具メーカーですが、
実はその材料となる広葉樹の95%が“外国産材”を使用しています。

それで“国産と呼んでいいのか？”という疑問が次第に大きくなり、
日本の木を使って
「真のメイド・イン・ジャパン」と呼べる家具を作りたいと思い、
北海道産材などを使用した家具づくりに取り組んできました。

が、

どうしても「メイド・イン・讃岐」の家具を作りたい。。。

香川県の広葉樹は家具用材になるのか？



香川県にはコナラ・クヌギ・アベマキ・ヤマザクラなどの広葉樹はあるけれど、

それが家具用材として使えるとは思われなかった。「雑木」ですから。

“広葉樹が欲しいんです！”と言っても、なかなか相手にしてもらえませんでした。

出材して手に入らなければ、使えるかどうかもわからない、、、

山には在るのに、手に入らない、、、

コナラでテーブルとスツールを試作

2021年8月、香川県産業技術センターより提供されたコナラ材を使用し、
テーブルとスツールを試作し、北海道ミズナラ製品と比較。
その表情は繊細で力強く、引けを取らない素材であることが確認できました。

同年11月、林業従事者・各森林組合・県みどり整備課・産業技術センター・家具組合が一堂に会し、この試作品「家具用材　コナラ」を実感していただき、情報交換や協力体制について意見を交わすことができ、連携への期待が高まりました。



コナラ試作品



ミズナラ製品

県産木100% メイド・イン・讃岐プロジェクト の実証

本格的に香川県の広葉樹利活用の家具を開発するにあたり、“川上・川中事業者の協力”と開発資金が必要不可欠でした。

2022年3月、令和4年度新かがわ中小企業応援ファンド等事業農商工連携支援事業において

香川県森林組合連合会と当組合の連携による 「県産木100% メイド・イン・讃岐プロジェクトの実証」が採択され、商品開発と販路開拓の初期資金のメドが立ちました。

しかし、、初年度の広葉樹確保量は、仲南町森林組合から入手できたコナラ2. 5㎥のみ。

その貴重なコナラ材を当組合メンバー4社で分け合い、商品開発。

広葉樹が思うように手に入らない、この状況。

この先、事業化できるのだろうか？という不安を常に抱えたままの発進でした。

「100% メイド・イン・讃岐プロジェクト」とは

木に携わる仕事をしてきたが、これまでまったく接点のなかった
讃岐の木づかい職人たちが
ここ讃岐の地で
シイタケ原木や薪、チップくらいにしか活用されてこなかった
コナラ・クヌギ・アベマキ・ヤマザクラなどの
讃岐の広葉樹を使い家具を作り、その良さを世に伝える活動

川上から川下までの木づかい職人が、「線で繋がる」
誰もがはじめての、新しい取り組み
苦労や手間はみんなの付加価値
森の整備や雇用の安定にも繋がる、サスティナブルな取り組み
いま、世界中で必要とされる、 SDGs 持続可能な社会づくりへの取り組み
地産地消 循環型社会の形成を担う取り組み

これが 100% メイド・イン・讃岐プロジェクト です

ナラ枯れ



2023年1月14日　ことなみ未来館で開催された「森づくり講演会」（主催　西部林業事務所）に参加。

神戸大学　黒田教授より「ナラ枯れ」対策には「伐って使うことが有効」と教わり、

当プロジェクトの取組みはナラ枯れ対策に貢献できる、と確信しました。



香川県産広葉樹は家具用材として通用する



2023年1月11日～12日　大川新春展2023

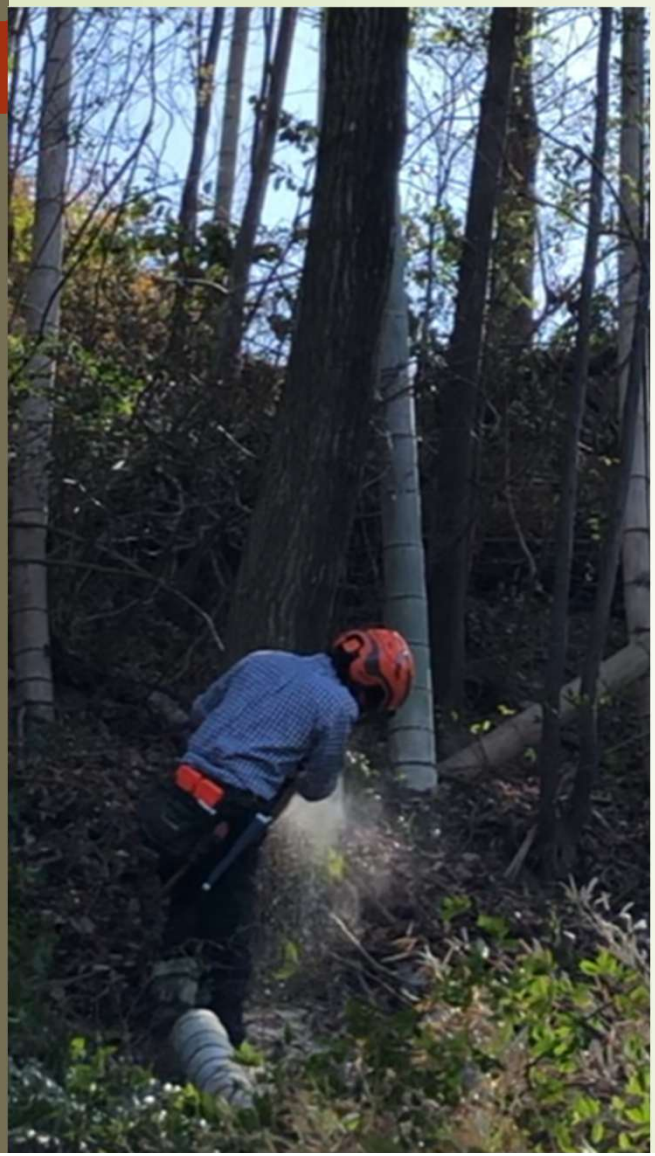
コナラ・クスを利活用した家具を出展。

外国産木材が大半を占める会場で、香川県産広葉樹の家具に見入るバイヤーは多く、家具用材としての手ごたえを感じました。

2023年1月31日～2月1日　WOODコレクション2023

行政や林業関係者など大勢の方々が当ブースを訪れました。100% メイド・イン・讃岐プロジェクト のナラ枯れ対策・森の若返りと循環型社会づくりへの共感や、乾燥プロセスの難しさとサプライチェンの状況などへの質問が多く、全国的に広葉樹利活用を模索していることを強く感じました。

伐採





2022年12月～2023年6月　各森林組合や自伐林業家の方々から続々と出材の案内をいただき、コナラ、クヌギ、アベマキ、ヤマザクラ、クス、ノグルミ、キリ、モチ　など多樹種の確保ができましたが、全国展開するには量がまったく足りない中、展示会出展などでPRを継続しました。

伐採現場や土場で、家具用材として適した太さや長さ・樹種や曲がりの程度などの希望を真剣に聞いてくれました。

また、危険を伴う伐採作業や搬出の難しさ・ナラ枯れの実態と森への思いなどを知るにつれ、感謝の気持ちが高まりました。

いつもありがとうございます！

製材



広葉樹、特にコナラやクヌギ・アベマキなど「ドングリの木」は非常に硬い木なので、香川県下で製材できる設備とノウハウを持つ事業所が非常に少ないのが現状です。

また設備の老朽化、職人の高齢化や後継者不足などの問題も抱える中、いつも笑って引き受けてくれる姿に感謝しかありません。

いつもありがとうございます！

天然乾燥







製材後は、各社に持ち帰り、付着している製材粉を落として防虫・割れ止めを施してから桟積みして天然乾燥が始まります。

スペースが足りないのが悩みの種。。。



人工乾燥





香川県下で人工乾燥できる事業所は僅かです。

その上、気乾比重が高い「ドングリの木」の人工乾燥プログラムはまだ模索中です。

いつも無理を言って人工乾燥をお願いしているので、頭が上がりません。

いつもありがとうございます！

hahaso stories　柞ストーリーズ

2023年11月、かがわ木材加工センターにてコナラなど約5㎥　人工乾燥していただき、
当プロジェクトメンバー　川西木工所・光松庵・日美の3社が新作の開発に着手。
並行して「100% MADE IN SANUKI PROJECT」のパンフレットを制作。
雑木とされてきたドングリの木（コナラ・クヌギ・アベマキ・カシ・シイなど）を総じて、古い呼び名**「柞　ははそ」**と呼ぶことにしました。

そして、

・当プロジェクトにご協力をいただいてきた川上・川中の事業者の方々
・当プロジェクトに共感し応援してくださる方々
・香川県産広葉樹の家具の販売促進してくださる小売店の方々
・難しい香川県産広葉樹をそれぞれの感性とデザインでプロダクトを生み出す仲間

多くの方々のご支援とご協力があってこそスタートできた、この“物語”を
「hahaso stories　柞ストーリーズ」と呼ぶことにしました。

課題①　サプライチェーンの構築と資金力

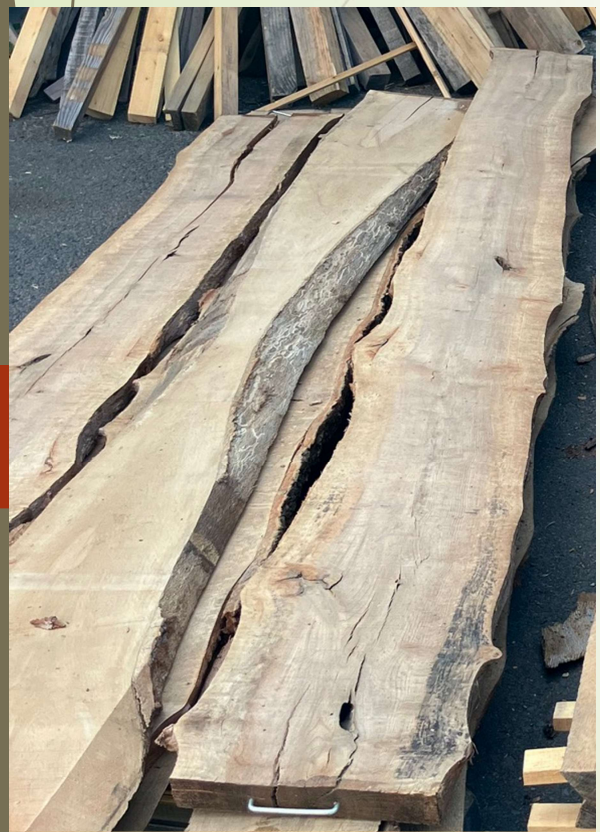
香川県の広葉樹に関しては、これまで家具用材としては利活用されてこなかったので
（原木購入）～（製材）～（天然乾燥・人工乾燥）
～（家具製造）～（流通）～（販売）～（顧客サービス）
といったサプライチェーンも中間事業者が存在しないので、

それを（家具製造事業者）が繋いでいく必要があり、まったくゼロからの出発でした。

◆伐採された木を購入してから家具づくりに使えるまで、1年～5年はかかるので
その間、お金にならない
◆在庫保管スペースがまったく足りない

など、資金面と保管スペースの不足という大きな課題を抱えています。

課題②　歩留まりの悪さ





コナラ・クヌギ・アベマキ　“ドングリの木”は、ほんとによく割れます(；∀；)

歩留まりは、30%以下程度。。。

ミズナラの平均気乾比重は0.7程度ですが、コナラやクヌギの平均気乾比重は0.8程度で、成長の良い良材ほど重くなります。

よって、乾燥も非常に難しい！というのは、他県自治体や森林総合研究所の方々も頭を悩ませており、それが広葉樹利活用が進まない要因のひとつのようです。

天然乾燥で含水率30%未満に落とさないまま人工乾燥した場合、かなりの頻度で木口割れ・表面の割れと板反り・歪みが生じて使い物にならなくなります。

なので、40mm製材厚で　天然乾燥8～12ヶ月程度をかけて、じっくり用材に育てます。

課題③　川中事業者の少なさと高齢化

香川県の林業は、針葉樹主体で行われてきたため、広葉樹の製材が可能な事業所や人工乾燥の事業所が非常に少ないのが現状です。

◆伐採時期は概ね11月～3月、この期に製材が集中してしまうため、
**　製材事業所の繁忙状況や生産能力に左右される　→　2025年度は2箇所に分けて製材**
◆“製材待ち”が長期化した場合、土場で干割れが進む
◆伐採地に近い製材事業所に委託できず、遠方の製材事業所になった場合の運搬コスト増
◆製材職人の高齢化・後継者不在となれば、製材事業者がさらに少なくなる危機

また、広葉樹の人工乾燥をお願いできる事業所も僅かなので、

◆人工乾燥済の材が欠品して、香川県産広葉樹が使えない時期が生じてしまう
◆自分たちで人工乾燥設備を購入するとなると資金面や場所の問題

課題④　事業の持続性

私たち川下の家具製造事業者は、“定番商品化”した香川県産材の家具を市場へ安定的に供給する責任（供給責任）があります。

家具づくりに使える材料が欠品し、ある程度の期間でも商品が供給できなくなると小売店側も困りますので、展示現品の処分販売及び登録から外されてしまうことになります。

そうならないためには、常に材料をストックしておく必要がありますが、その在庫スペースに限りがあるため、

◆許容量を超える原木が搬出されても買取りができない（保管できない）

理想は、「欲しい時に、欲しい樹種を、欲しいだけ仕入れる」ですが、現実的ではありません。

◆「いつ・どこで・どんな樹種・どれくらいの太さ・どれくらいの量が伐採される」という事前情報が必要ですし、

香川県産広葉樹の家具をブランド化し、事業を継続していくためには

◆永続的に、コンスタントに欲しい広葉樹が搬出されるという展望・計画性が必要です。

どのようにして事業を長期的に継続できるか、、、模索が続いています。

課題⑤　様々なニーズ

香川県産広葉樹のニーズは、家具だけではありません。

例えば、

- **小物作家さん：希望樹種・希望サイズの材を数枚欲しいので分けてほしい**

- **工務店さん　：　飲食店のカウンターに、長さ6m　巾70cm 厚み5cm の仕上がり寸で作れないか**

共に、乾燥済の材がないと対応できませんが、
認知度が高まるにつれて、様々なニーズが出てきました。

様々な課題への対策案

課題④ 事業の持続性

◇資源（広葉樹）の生息状況を把握
　生息地・樹種・太さ情報の視える化
◇中長期的かつ持続可能な伐採計画
　→製材・乾燥の計画視える化
　↓
川上～川中～川下の事業持続性
雇用、事業承継、設備投資、事業計画

課題③ 川中事業者の少なさ

◇県ぐるみで産業構造を見直す
◇若手が働き甲斐を感じる事業に
◇製材～乾燥の新たな担い手を創出

課題② 歩留まり

細い・小さい材・端材の活用
↓
◇割れや欠点をデザインに
◇椅子・小物・雑貨
◇フローリング・集成材
　・・・新たな参加事業者発掘

課題① 在庫スペース

◇在庫スペース拡張努力
　フォークリフトが必要

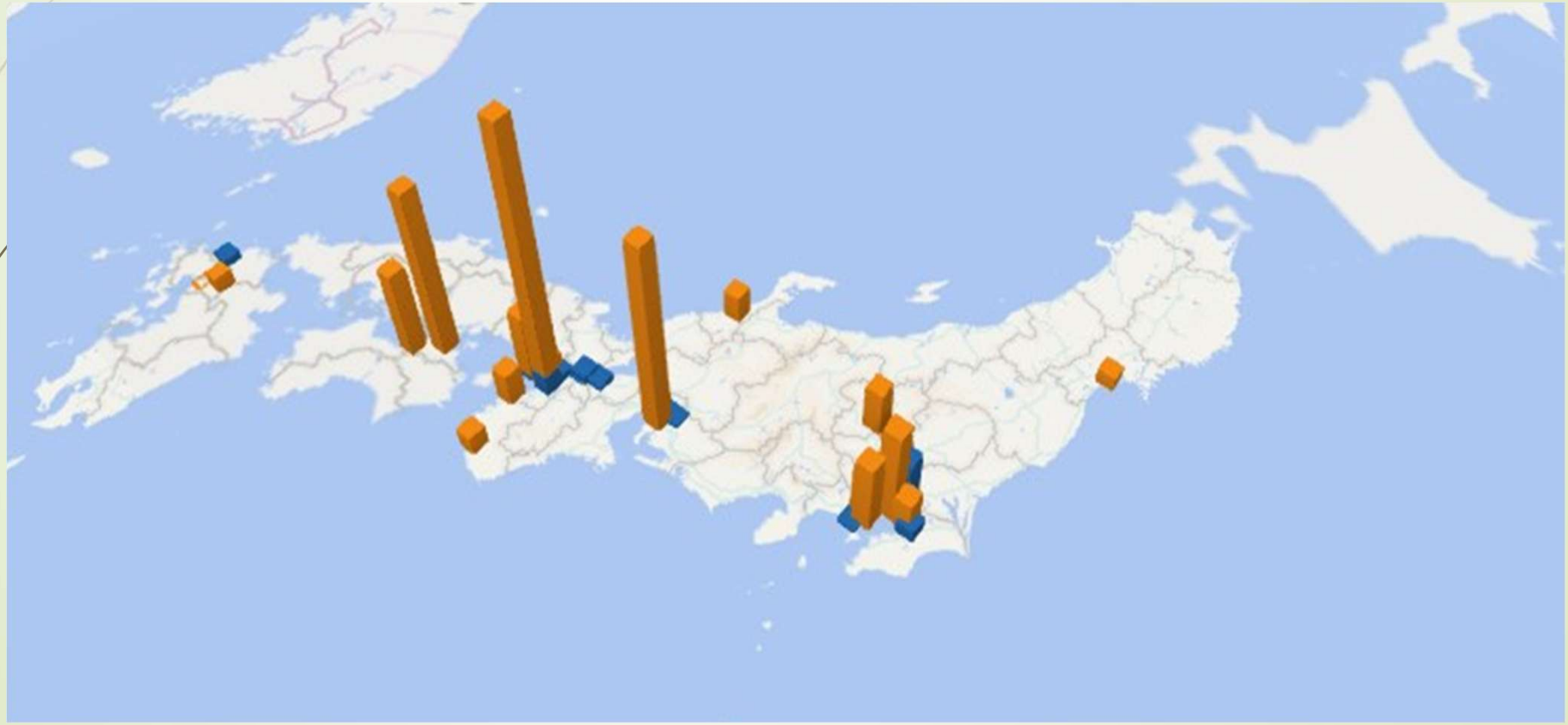
課題⑤ ニーズへの対応

◇ニーズの発掘
◇「小売り体制」整備
◇在庫スペースの確保

市場規模

香川県産材利活用の家具は、香川県内だけでなく、全国のインテリアショップ・小売店で販売されており、今年は香港でも1店舗　展示導入されています。

これからもPR活動に注力していきます。



事業実施状況

2021年11月　仲南町森林組合よりコナラ　**約2.5㎥**仕入れ

2022年12月～2023年6月　各森林組合・自伐林業家様から広葉樹仕入れ　**約37㎥**

2023年1月　　大川新春展2023にコナラ試作品を出展

2023年1月　　WOODコレクション2023に出展　　各県の自治体・森林総合研究所より注目される

2023年7月　　大川夏の彩展2023に出展

2023年10月　ウッディフェスティバル2023にて家具展示PR

2023年11月　コナラ・クヌギを主とする広葉樹家具の新作開発

2023年12月～2024年5月　広葉樹仕入れ　**61㎥（三木町神山、塩江町大滝山、さぬき市大川町）**

2024年1月　　大川新春展2024に出展　受注開始

2024年7月　　大川夏の彩展2024に出展

2024年10月　ウッディフェスティバル2024にて家具展示PR

2024年12月　WOODコレクション2024plusに出展　各県の自治体・森林総合研究所より注目増加

2025年1月　　大川新春展2025に出展　ラインナップが増え、受注増加

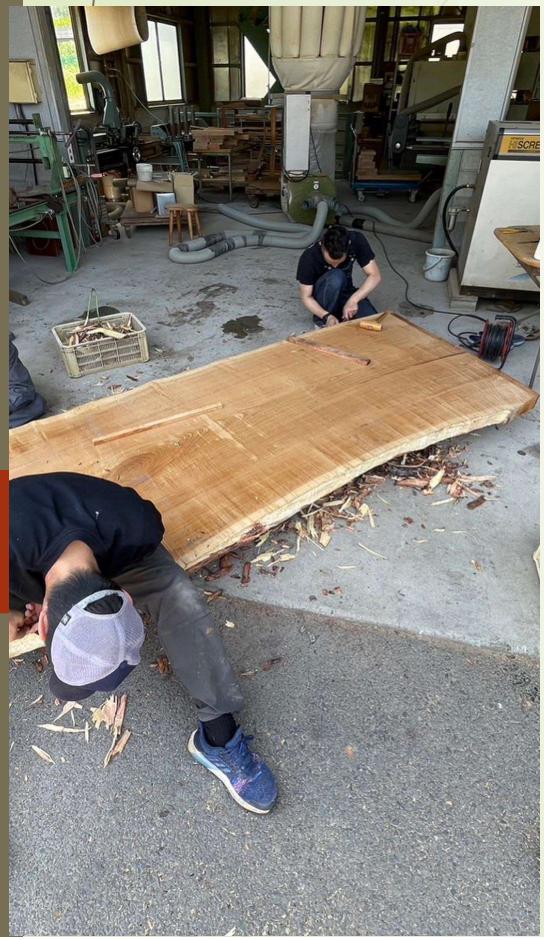
2025年7月　　大川夏の彩展2025に出展　材在庫欠品のため、やむなく受注は9月以降に調整

2024年11月～2025年5月　広葉樹仕入れ　**74㎥（まんのう町、塩江町、さぬき市大川町）**

Product　～柞の家具づくり～

川上（伐採）～川中（製材・乾燥）みなさんの思いを繋ぎ、1年～5年後にようやく家具づくりに取り組むことができます。

やっと「柞」と向き合える時間。柞と対話しながらデザインしていくスタイル。







Product　～PR活動～

様々な展示会で、ひとりでも多くの方に「hahaso stories」を
知ってもらいたい！
川上・川中・川下のそれぞれの思いを胸に、しっかりと伝えていきます。











おわりに

2022年3月にスタートした
県産広葉樹利活用の家具づくり　100%　メイド・イン・讃岐プロジェクトは
4年目に突入しました
この短期間で広葉樹利活用が事業化に成功し、徐々に成長しつつあるのは
川上・川中の事業者の方々のご理解と並々ならぬご支援ご協力があったからこそです

本当に、心より感謝申し上げます　　ありがとうございます！

まだまだ課題は山積していますが、皆様とともに
「柞のストーリー」を描き続けていきたい、
森の若返りと地産地消　循環型社会を築き上げていきたい
香川県だけでなく、他県にも広がる取組みになってほしい

これからも。。 100年先も続きますように。。。